

コンサルテーション事業報告

事業の名称	学校教育の評価分析 支援事業	事業代表者	清水 禎文
			教育設計評価 講座
対 象	高等学校教員 中学校教員 高校生 中学生 教育委員会		
目 的	中等教育における学校教育評価分析の支援活動を通して、学校教育の質的改善に資することを目的とする。このため、主に学校において定期的に学校経営、教員サポート、学習支援などを支援し、その上で学校教育の評価分析を支援する。		
実 施 日	不定期	実 施 回 数	
		月 1～2 回程度	
実 施 場 所	大学 学校		
主なスタッフ	清水禎文 有本昌弘 新川荘光 (D1)、大久保哲平 (M1)、 日野晃子 (M1)	人 数	
		5 名	
ス タ ッ プ の 活 動 内 容	○学校経営支援 ・宮城県仙台二華高校 学校評価アンケート分析 (月 1 回程度) 教育設計評価専攻の事業の一環として、仙台二華中学校・高等学校のイメージ調査、学校評価アンケートに協力している。 この事業では、調査で得られたデータに基づき、学校長・副校長・教頭・主幹教諭らと学校経営に関する意見交換を行った。授業とは別に設定された相談活動である。 ・宮城県角田高校における教育課程改革支援 (4 月、7 月、11 月、3 月) 宮城県角田高校は地域の拠点校であるが、生徒の進路は多様である。このため現在、生徒の多様性を踏まえた教育課程改革に取り組んでいる。学校の視察及び校長・教頭との意見交換を行った。		

事業実施内容	角田高校とは 2015 年度 4 月以降、継続的にコンサルテーション事業を行うことになった。 ・宮城県 A 高校における学習活動の支援及びコンサルテーション 宮城県 A 高校は周辺地域に位置し、年々入学者数が減少してきた。学級数が削減されたものの、入学者は募集定員を満たしていない。この A 高校では、8 年前より学校関係者、PTA、周辺の中学校長、地元自治体の首長・議長・教員委員長、地元企業経営者などから構成される「A 高校を考える会」を開催してきた。この会に出席し、学校長と学校経営及び今後の地域教育計画に関する意見交換を行った。 ○高校における学習支援及び学習評価支援活動 ・宮城県仙台二華中学校・高校における「総合的な学習の時間」への参与観察及びコンサルテーション（月 1～2 回程度）。 宮城県仙台二華中学校・高校は、学校の教育目的に合わせ、特色ある「総合的な学習の時間」の開発に取り組んでいる。今年度は「総合的な学習の時間」における学習成果（Learning Outcomes）のアセスメント（形成的評価）を促進する支援活動を行った。
---------------	--